


# 三次市立三良坂中学校校舍屋上防水改修工事 設計図

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録 ( 19(1)第3940号 ) FAX 0847-67-3808	図面名 表紙		工事名 三次市立三良坂中学校校舍屋上防水改修工事 設計図						
				縮尺	—	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭				No. A - 0

建物概要

工事名称	三次市立三良坂中学校校舎屋上防水改修工事	
発注者	住所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
	氏名	三次市教育長 迫田 隆範
敷地概要	地名地番	広島県三次市三良坂町三良坂2772番地1
	敷地面積	
	都市計画区域	都市計画区域内
	用途地域	第1種中高層住居地域
	防火地域	指定なし
	指定建ぺい率	60%
	指定容積率	200%
	高さ制限	指定なし
	高度地区	指定なし
	日影規制	指定なし
	外壁の後退	指定なし
	風致地区	指定なし
	その他の指定	なし
建築概要	道路	前面道路幅員 m
	建物用途	建築基準法-中学校
	工事の種別	改修（防水）
	構造	RC造
	階数	2階建て
	最高高さ	7.970 m
	軒高さ	7.470 m

工事概要

本工事は、三良坂中学校の校舎屋上防水改修工事です。

．その他工事

上記工事に伴う工事1式

学校を使用しながらの防水改修工事の為、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図を作成してください。

また、工事手順、安全対策騒音対策等の内容を記載した安全計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。

尚、下請協力業者は防水改修工事の実績のあるものとし係員の承諾を得るものとします。

別紙仕様書、設計図等により入念に施工を行ってください。

不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

．工事工程等

事前に関係者（中学校・学校教育課・都市建築課・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、詳細工程表及び総合仮設計画書を作成し、承諾を得た後工事に着手してください。

全体の工期は入札要綱の通りですが、施工日及び時間に制限がある場合があります。

（特に音の発生する作業は事前調整が必要となります）

．備品等の移動及び復旧

備品等の支障になる物の移動及び復旧等は全て工事請負の負担に行ってください。

．工事監理を建築設計事務所に委託しておりますので提出書類等は工事監理者を通して提出ください。

【 注意事項 】

別紙提示の内訳明細書の取扱いについて

現場説明書及び設計図を最優先とし、内訳明細書はあくまでも参考資料とすること。

入札に先立って入札参加者において数量を算出し、それに基づいて入札価格を決定し入札に臨むこと。

尚、内訳明細書の数量等に疑義がある場合は入札日前の所定の期間内に協議書を提出ください。

【 指示事項 】

①工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者にて行うこと。

②工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。  
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに諸請負者で保証し解決を図ること。

③消火器等を設置して火災等発生しないよう最善の注意をすること。  
万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形（可燃部分）に応じ火災保険を締結しその受取人を発注者として保険証書を提出すること。  
その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。  
尚、建物内及び敷地内は全て禁煙とする。

④振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。  
もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。

⑤作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。

⑥着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。  
毎日最低1回は工程表の見直しを行い、7日以上遅れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。

⑦水道等の既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。  
この場合有料とするので、係員の指示に従い速やかに納付すること。

⑧図面を製本し提出すること。  
・ A 4 版 2 部（表紙付、契約用）  
・ A 3 版 部（現場用）  
◎ A 4 版 2 部（現場用）（A3 2ツ折り製本）

⑨不明な点については、係員と協議の上施工すること。

⑩解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。  
必要に応じてマニフェストを提出すること。

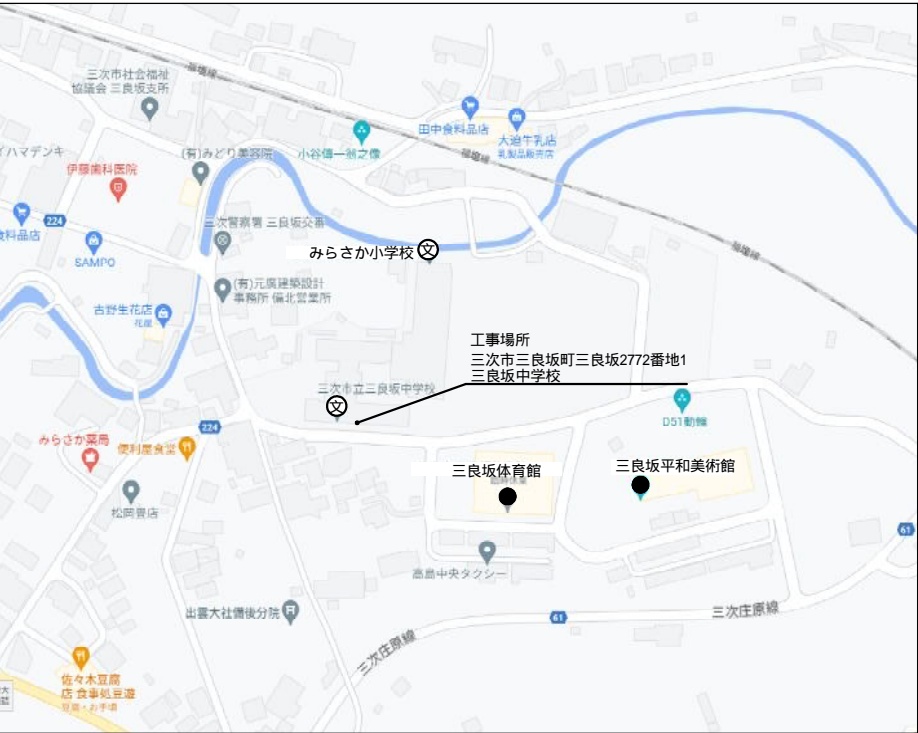
⑪昇降足場にはバリカー、チェーン等を取付け作業員以外が自由に昇降できないような処置を行うこと。

提出書類一覧

提出書類は A 4 にて製本の事

工事名	三次市立三良坂中学校校舎屋上防水改修工事	部数	請負業者	提出期日	提出月日	備 考
	項 目					
○	1 着手届（発注者書式）	3	契約時	月 日		設計監理者にも提出の事
○	2 主任技術者・監理技術者・現場代理人届	3	契約時	月 日		設計監理者にも提出の事
○	3 同上経歴書（書式は自由）	3	契約時	月 日		免許証等（写し）添付
○	4 工事工程表	3	5 日以内	月 日		A 4 版程度
○	5 詳細基本工程表	3	5 日以内	月 日		A 3 版程度
○	6 見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	3	5 日以内	月 日		A 4 版ファイル
○	7 施工体系図	3	随 時	月 日		
○	8 下請業者名簿（施工体制台帳等共）	3	各工事着手前	月 日		
○	9 主要資材購入先名簿	3	資材搬入前	月 日		
○	10 期間別工事工程報告書	3	毎月2回	月 日		現況写真添付のこと
○	11 工事進捗状況報告書	3	毎月2回	月 日		現況写真添付のこと
	12 鉄筋及び鉄骨試験表	3	随 時	月 日		ミルシート等
	13 コンクリート調合表	3	随 時	月 日		
	14 コンクリート圧縮試験表	3	随 時	月 日		4 週（公共機関試験）
○	15 施工図・製作図・承認図	3	随 時	月 日		
○	16 各種計画書	3	随 時	月 日		
○	17 工事写真	3	毎月2回	月 日		最終はC D データ
○	18 火災保険証の写し	3	着工前	月 日		工期の20日延長
○	19 質疑回答	3	必要に応じて	月 日		
○	20 工事材料搬入・検査報告書	3	随 時	月 日		
○	21 各種試験成績書（引抜き試験等）	3	随 時	月 日		
○	22 機能及び性能試験成績書	3	随 時	月 日		
○	23 材料出荷証明書	3	随 時	月 日		
	24 塗装関係の使用量の報告書	3	完了時	月 日		
	25 アスファルト調合表、試験表	3	随 時	月 日		
	26 工程指定の報告書（法 第12条3項）	3	随 時	月 日		写真添付のこと
○	27 工事打合簿	3	随 時	月 日		
○	28 社内検査表	3	完了時	月 日		
○	29 竣工図（文字入り製本・ A 3 版及び A 4 版）	3	完了時	月 日		原図を訂正のこと
○	30 各工事保証書	3	完了時	月 日		
	31 鍵番号表	3	完了時	月 日		
	32 電気絶縁抵抗試験表	3	完了時	月 日		
	33 テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	3	完了時	月 日		
	34 接地抵抗試験表	3	完了時	月 日		
	35 水圧試験報告書	3	完了時	月 日		
	36 ガス気密試験報告書	3	完了時	月 日		
	37 電気メーター指針表	3	完了時	月 日		
○	38 水道メーター指針表（水道を使用する場合）	3	完了時	月 日		
	39 ガスメーター指針表	3	完了時	月 日		
○	40 完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	3	完了時	月 日		C D データ
○	41 総合仮設計画書（安全計画書含む）	3	5 日以内	月 日		A3版程度の図面添付
○	42 上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	3	随 時	月 日		
○	43 提出書類綴込み用空ファイル	3	5 日以内	月 日		5 c m用程度
○	44 退職金共济制度	3	随 時	月 日		
○	45 再生資源利用計画書・産廃報告	3	完了時	月 日		
○	46 安全実施報告書（KY等）	3	随 時	月 日		
○	47 社会保険等	3	随 時	月 日		

工事中落下物の恐れのある作業時には地上に安全誘導員及び監視員を配置してください。



付近見取図

MEMO



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

T E L 0847-67-2472

広島県知事登録 ( 19(1)第3940号 )

F A X 0847-67-3808

図面名 工事概要・付近見取図

縮尺

—

製作日

工事名 三次市立三良坂中学校校舎屋上防水改修工事 設計図

1級建築士  
第111572号

永井秀昭

No. A - 1

[illegible]

防水改修工事

③

①

②

③

4

降雨等に対する養生方法

既存防水の処理

既存下地の処置

アスファルト防水

改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。  
・ 図示

既存保護層の撤去  
・ 行う (範囲 図示 )  
○ 行わない  
既存防水層の撤去  
・ 行う (範囲 図示 )  
・ 行わない ○ 図示  
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去  
・ 行う (・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X)  
○行わない

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 図示  
POS工法及びPOS1工法 (機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)～による  
設備機器架台、配管受部、バラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔置出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

屋根保護防水  
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P 2 A	・ A - 1 ・ A - 2 ・ A - 3			ゴリエレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70 / m2程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ れんが押え JIS R 1250
・ P 1 B	・ B - 1 ・ B - 2				
・ P 2 A I	・ A I - 1 ・ A I - 2 ・ A I - 3		(材質) JISA621に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキニング付き) (厚さ) (mm) 25 ・ 50	フラット ヤーンクロス 70 / m2程度	
・ P 1 B I	・ B I - 1 ・ B I - 2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.3.5から表3.3.6による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.4による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上)

平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ  
こて仕上げ 水下 80mm以上  
床タイル張り 水下 60mm以上

乾式保護材  
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。  
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

(品質・性能)

分類・規格	・ 窯業系パネル類 (寒冷地仕様)	・ 窯業系パネル類 (一般地仕様)	・ 金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)		
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%		
出荷時の含水率	出荷時ににおいて10%以下	-	-
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm) (ス/㎡40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	標準時 550以上 凍結融解完了時 (試験サイクル数) 400以上 (300)	450以上 320以上 (200)	300以上 250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	3000サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	2000サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	3000サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないとは認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)
耐衝撃性能	質量500 (窯業系パネル類は1,000)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	
剛性 (E×I) (ス/㎡40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)	-	-	80,000N・cm2以上

(試験方法)  
(1) 寸法の測定方法  
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めたパネルの厚さとする。  
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金銭性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。  
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からス/㎡中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネル類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。  
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。  
(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。  
(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試験薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を引く。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。  
吸水による長さ変化率(L)は、次式によって求める。  
(L)= (L2 - L1) / L1×100  
L1：乾燥時の標線間の長さ(mm) L2：吸水時の標線間の長さ(mm)  
(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネル類は200サイクルまでとする。)  
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。  
(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。  
試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1・1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くばみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
				種類	使用量	
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4				・ 適用する	
・ M3D ・ P0D	・ D-1 ・ D-2				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ P0DI ・ M3DI ・ M4DI	・ DI-1 ・ DI-2		JIS A 9621(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) 25 ・ 50		・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.3.7から表3.3.9による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.3.8から表3.3.9による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上)

脱気装置の種類 アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
脱気装置の設置数量 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示

屋内防水

工法	種別	施工場所	保護層
・ P 1 E ・ P 2 E	・ E - 1 ・ E - 2		・ 設ける ・ 設けない

E - 1の場合で工程3を行う部位 ( 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 )  
保護層 ・ 設ける ( 図示 )  
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
屋上排水溝 図示

5

改質アスファルトシート防水

屋根露出防水  
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
				種類	使用量	
・ M4AS ・ M3AS ・ P0AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2				・ 適用する	
・ M3AS ・ P0AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ M3ASI ・ M4ASI ・ P0ASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1		JIS A 9621(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) 25 mm ・ 50 mm		・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上)

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上)

脱気装置の種類 改質アスファルトシートの製造所の指定  
脱気装置の設置数量 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁断熱工法の防水湿シート

・ 設置する  
・ 設置しない

防水層の種類 ○ 図示

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
				種類	使用量	
・ POS ○ S4S	・ S-F1				・ 適用する	脱気装置 ○ 設ける 改修用ドレン ○ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2				・ 適用する	・ 設けない
	・ S-M1				・ 適用する	・ 設けない
	○ S-M2	屋上			・ 適用する	
・ S3S	・ S-F1				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2				・ 適用する	・ 設けない
・ M4S	・ S-M1				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-M2				・ 適用する	
・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1 ・ M4S1	・ SI-F1		改修標準仕様書3.5.2 (3)(1)(b)による (種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) 25 ・ 50		・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ SI-F2 ・ SI-M1		改修標準仕様書3.5.2 (3)(1)(a)による (種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) 25 ・ 50		・ 適用する ・ 適用する	
	・ SI-M2				・ 適用する	

S・F1、S・M1、S・F2、S・M2の仕様  
非歩行用 ・ 軽歩行用  
S I・F1、S I・F2、S・M1及びS・M2における防湿用フィルムの設置  
設置しない ・ 設置する  
S I・M2の絶縁用シートの材質  
発泡ポリエチレンシート  
S・M2及びS I・M2の立上り部の工法  
接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ 1.5mm ) ○ 機械的固定工法

7

塗膜防水

8

シーリング

9

とい

屋内防水  
防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタルの塗厚
		塗厚	平場のモルタル塗り工法	
・ S - C 1			・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り	7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ  
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による  
・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上)

固定金具の材質及び寸法形状  
防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

脱気装置の種類及び設置数量  
接着工法の場合の脱気装置の種類 ルーフィングシートの製造所の仕様  
接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)  
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 (接着工法の場合)  
・ 行う ( 図示 )  
・ 行わない  
プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合)  
・ 行う ( 図示 )  
・ 行わない  
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け  
1章 17 適用区分による風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法

防水層の種類 ○ 図示

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
			種類	使用量	
・ P 0 X	X - 1 ・ X - 2 ・ X - 1 H ・ X - 2 H		2成分形アクリルウレタン樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	主材料の製造所の仕様	・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ L 4 X	X - 1 ・ X - 2 ・ X - 1 H ・ X - 2 H			主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ P 1 Y	Y - 2				保護層 ・ 設ける ・ 設けない
・ P 2 Y	Y - 2				保護層 ・ 設ける ・ 設けない

X - 1 (絶縁工法)の脱気装置の種類 主材料の製造所の仕様  
X - 1 (絶縁工法)の脱気装置の設置数量 主材料の製造所の仕様 (個)

シーリング改修工法の種類  
○ シーリング充填工法  
・ シーリング再充填工法  
・ 拡張シーリング再充填工法  
・ プリッジ工法  
ボンドブレイカー張り  
・ 適用する  
・ 適用しない  
エッジング材張り  
・ 適用する  
・ 適用しない

シーリング材の種類、施工箇所  
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
・ 打継部	・ 図示
○ その他図示による	○ 図示

仕上げを行わない施工箇所  
・ 図示による  
・ 打継目地  
シーリング材の目地寸法 改修標準仕様書3.7.3(1)による  
接着性試験 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

この材質  
・ 配管用鋼管  
・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VPカラー)  
○ ルーフドレン  
・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類 )  
○ 図示

ルーフトレンドレン

種別	施工箇所
○ ろく屋根用 (○ 縦型 ○ 横型)	○ 図示
・ バルコニー用	・ 図示
・ バルコニー中継用	・ 図示

MEMO

有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472  
広島県知事登録 ( 19(1)第3940号 ) F A X 0847-67-3808

図面名 建築改修工事特記仕様書 ( 2 )

縮尺 製作日

工事名 三次市立三良坂中学校校舎屋上防水改修工事 設計図

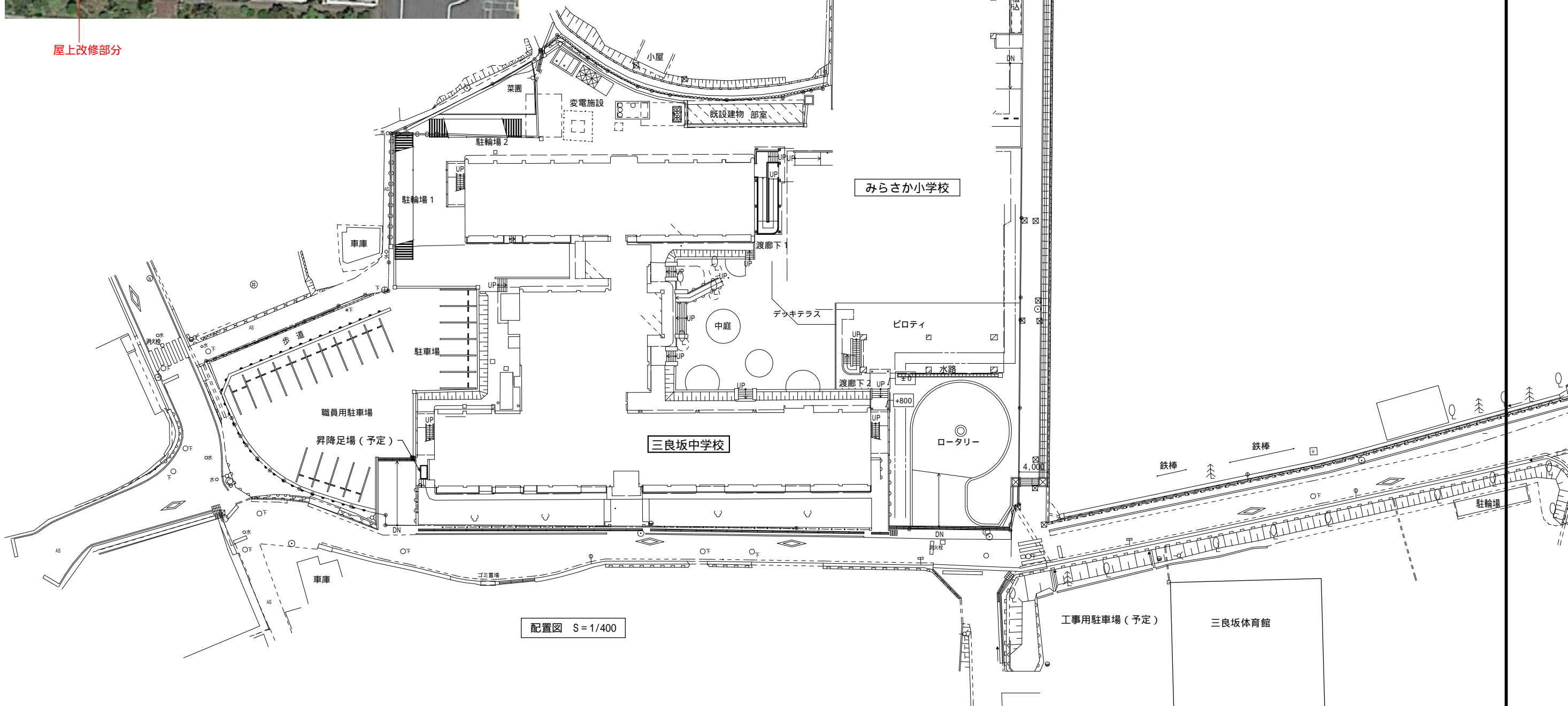
1級建築士 永井秀昭 No. A - 3

第111572号





屋上改修部分



配置図 S=1/400

MEMO	図面名 配置図		工事名 三次市立三良坂中学校校舎屋上防水改修工事 設計図						
	縮尺 S=1/400		製作日						No. A - 4



## ( 工 事 概 要 )

本工事は、屋根の防水全面改修です。下記の要領にて入念に改修工事を行ってください。（事前に施工要領書を提出し監督員の承諾を得たのちに施工してください）

又、施工に先立ち現場を確認し不明な場合は係員（監督員）に質疑しその指示によってください。

尚、施設を使用しながらの工事となりますので安全には最大限の注意をはってください。（アンカー打ち等 音の発生する作業は、時間設定が必要となる場合が有ります。

〔工事仕様及び指示事項〕

- 1, 各所の納まりは詳細図に基づいて施工する事。また、本設計図に記載無き物については国交省公共建築改修工事標準仕様及びメーカー仕様による。

- 2, 防水は、塩ビシート防水ベストプルーフ ロンシール工業(株) 塩ビシートリベットルーフ防水(アーキヤマデ(株)) 同等品以上とする。

- 3, 平面部は t=1.5mm S-M2・S4S 非歩行用 機械的固定工法 パラペット等 立上り部は t=1.5mm S-M2・S4S とする。

- 4, ウレタン系塗膜防水は、ロンレンタンU-3 t=2.0 (ロンシール工業(株)) AX2P-T20T t=2.0 (アーキヤマデ(株)) 同等品以上とする。

- 5, 屋上平面部及び、立上がりコーナ一部は既設防水層を残し施工する。

尚、既設防水の傷みのひどい部分は監督員と協議の上、必要に応じて撤去する事。モルタル笠木においても同様とする。

- 6, 既設防水層等施工面(塗膜防水面含む)は高圧水洗浄(5MPa程度)にてクリーニング清掃を行い、水溜り部分(約20m<sup>2</sup>)はウレタン系塗膜防水(上記4)にて水勾配をつけるように補修する。

- 7, 入隅, 出隅, 側隅部分は塩ビ被覆鋼板(メーカー仕様品)を取付け塩ビシートの施工に支障のないように処理すること。

- 8, ルーフドレンは、完全に撤去し樹脂ノロにて補修し改修用ルーフドレンを取り付ける。100 を標準とするが、既設寸法合わせとする

- 9, 脱気装置 ステンレスポンプSVS-18・AYステンレス脱気塔を水上に取り付ける。

- 10、立上り端部は塩ビ被覆鋼板(メカ仕様品)を取付けの上シーリング打ちを行い端未処理を行う。

- 11、荷揚げ荷降しにはレッカー車等の重機が必要となる為、その際には交通誘導警備員を配置し安全に配慮すること。

- 12、現場発生産業廃棄物は場外搬出とし関係法令を厳守して適正に処理する事。

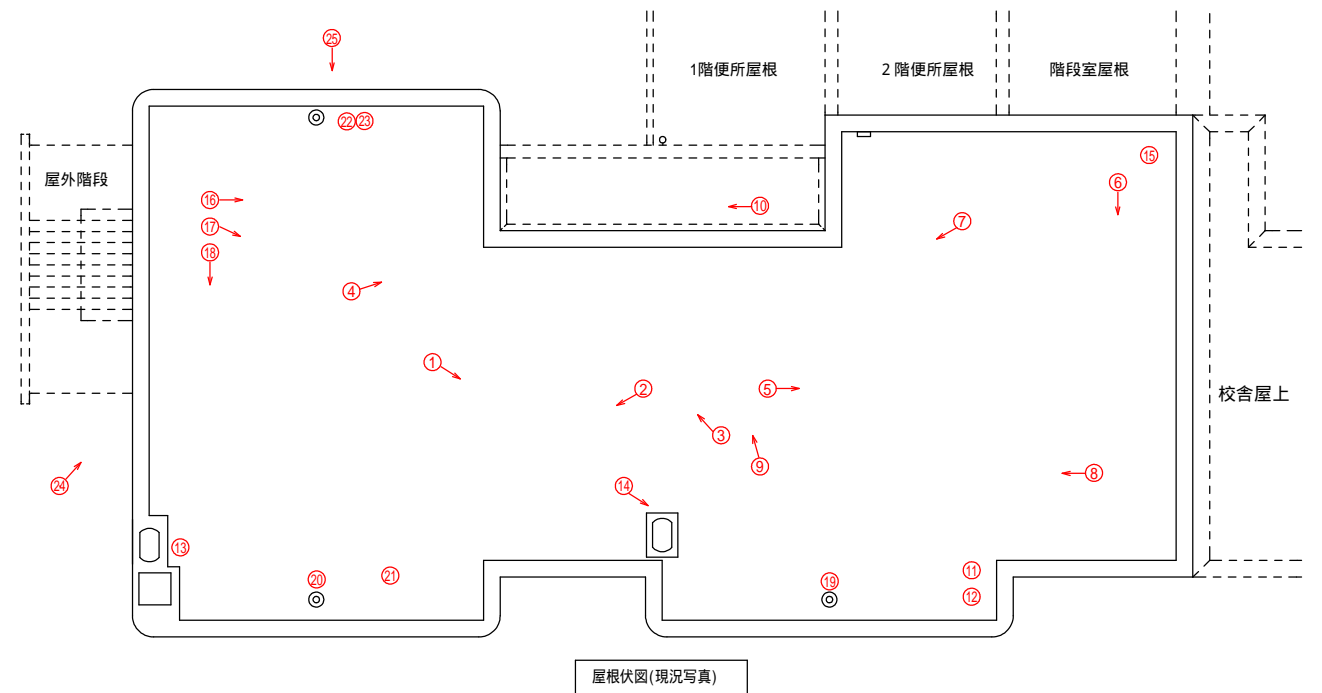
- 13, 施工者は防水施工技能士とする ( 証明書及び施工中の顔入り写真を提出する事 )


- 14, その他上記記入以外はメーカー標準使用とする

- 15, 上図記入寸法は概寸法を示すものであり施工に先立ち現地を実測の上決定する事(施工図を作成し監督員の承諾を得ること)

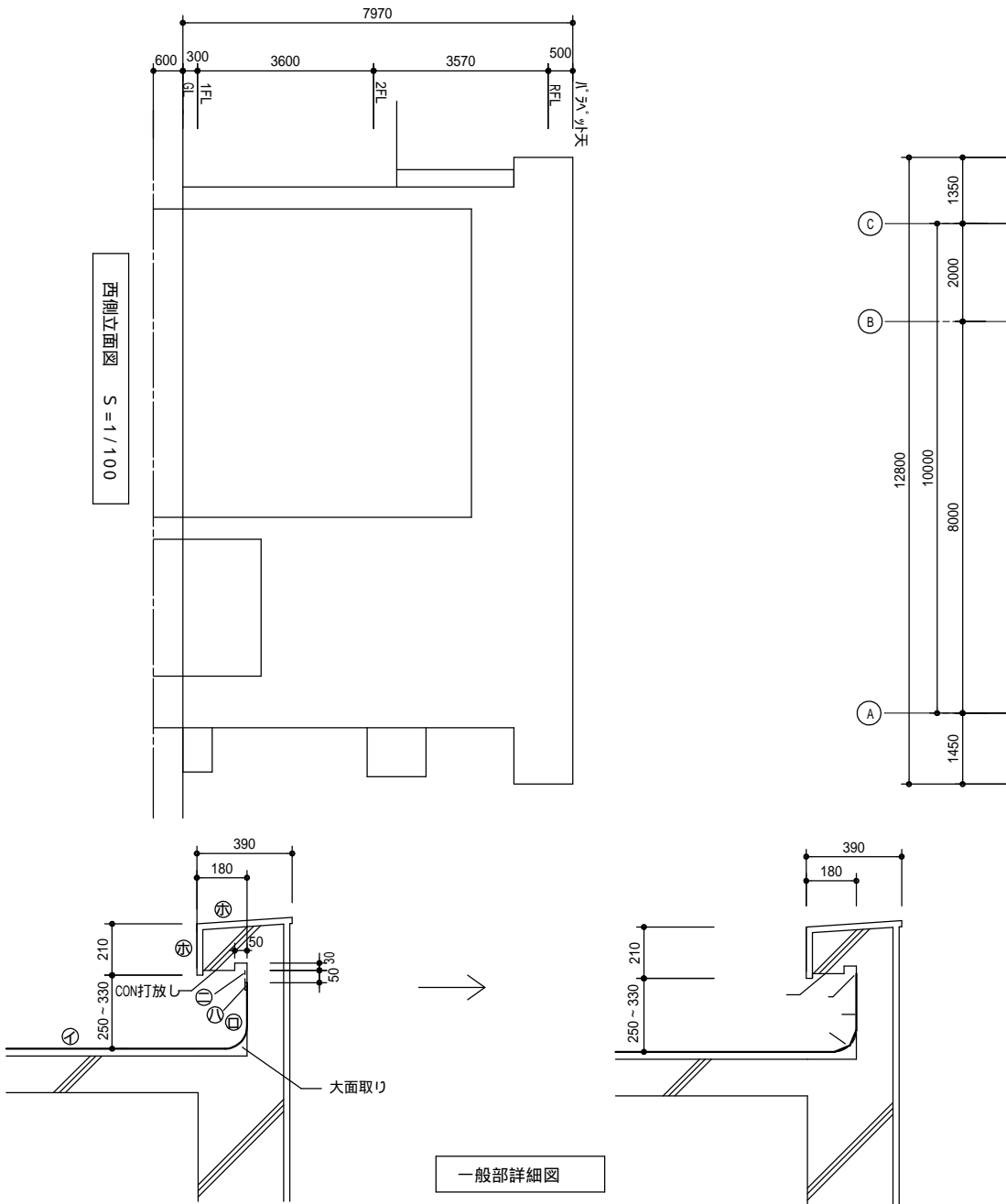
- 16, 引抜き試験は3力所以上行い、必ず監督員立会いの元で行う事

- 17, その他工事に支障となる物は移動又は取外し施工後復旧する事



MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8    T E L 0847-67-2472 広島県知事登録 ( 19(1)第3940号 )    F A X 0847-67-3808		図面名		工事概要・指示事項・現況写真		工事名                      三次市立三良坂中学校校舎屋上防水改修工事    設計図					
	縮尺                      —				製作日		1級建築士                      永井秀昭						No.    A                      -                      5	
							第111572号							

①	モルタル及び鉄筋腐落下部（現況写真参照）
②	モルタル浮き部撤去+鉄筋錆落し+錆止め塗装+あと施工アール打ちM6@150(ﾀﾞｲﾅﾐｯﾄ)+ﾘﾝｸﾞｽﾞ受け型枠
③	+樹脂モルタル充填+防水モルタル金ｺﾞ押え



記号	既設仕様	記号	改修仕様
①	アスファルト露出防水t 1.0~2.0ｼﾝｸﾞﾙｰ塗装	④	新設シート防水 平面部（非歩行） 機械的固定工法
②	モルタル又はコンクリート下地		既設防水層は残置 下地処理（高圧水洗浄）
③	アスファルト露出防水t 1.0~2.0ｼﾝｸﾞﾙｰ塗装	⑤	新設シート防水 立上り部 機械的固定工法
④	押え金物30 + シーリング 打ち		既設防水層は残置 下地処理（高圧水洗浄）
⑥	ﾀﾞｲﾅﾐｯﾄ防水	⑦	入隅部鋼板(ﾒｰｶｰ仕様BP-N2N上下同等 又は特注塩ビ鋼板)
⑦	防水モルタル塗り金ｺﾞ押え		端部押え金物(ﾒｰｶｰ仕様BP-H4同等) + シーリング 打ち（既設撤去）
		⑧	既設のまま
	笠木天端及び立下り部既設モルタル剥離落下及び浮き部		→ ｶｯﾀｰ入れの上撤去し防水モルタル金ｺﾞにて補修する
	本図左上表記の通り	⑨	範囲は監督員と協議の上決定する
	特記事項・特記以外はﾒｰｶｰ仕様とする		

